

## 事業評価書（事後評価）要旨

### ○ 政策評価の対象とした政策

皇居一般参観の利便性の向上等（事業評価）

### ○ 政策の目的

「明日の日本を支える観光ビジョン」（平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定）を踏まえ、皇居一般参観における当日受付・土曜参観の実施並びに参観者定員の拡大等により、皇居参観の利便性の向上を図るとともに、より多くの方に参観の機会を付与することを目的とした。

### ○ 政策評価の結果の概要

（必要性）

#### ① 当日受付

平成28年6月25日から平成29年3月31日までのうち、当日受付のみしか実施していない平成28年7月5日から10月29日までを除き、当日受付による参観者数と事前申込みによる参観者数を比較すると、当日受付による参観者数は29,635人、事前申込みによる参観者数は22,438人であり、当日受付による参観者数は、参観者全体の56.9%を占めることとなっている。

#### ② 土曜参観

平成28年6月25日から平成29年3月31日までの曜日ごとの参観者数を比較すると、土曜日の参観者数が18,460人と最も多く、平日で最も参観者数の多い金曜日の14,113人よりも4,347人多く、1.3倍となっている。

（有効性）

アンケート結果によると、当日受付をされた方への質問に対して、当日受付について、便利であると思うという回答が87.2%となっている。

また、ガイドンスについては、よくわかった、わかった、の合計が82.6%、皇室施設・皇室文化への理解については、とても深まった、深まったという肯定的な回答が89.7%となっている。

（効率性）

本事業の広報については、拡充決定時に報道機関へ事前に発表を行い、当庁ホームページにてお知らせを行った。また、信任状捧呈式馬車列事前広報のために観光庁が作成しているメーリングリストを用いて、東京都内の観光案内所等にお知らせするなどにより、費用をかけずに大きな広報効果を得ることができている。

（今後の課題）

アンケート結果においては、外国人参観者から、参観は日本語中心の解説で、ガイドンス機器の数も不足していたことから、説明がよく理解できなかったという意見が最も多く寄せられている。

今後は外国人参観者の利便を図るべく、多言語の音声ガイドンスの配備を早期に行うこととしたい。

併せて、ガイドについても、担当職員に対する語学研修を充実させるとともに、外国語に堪能な者にガイド業務を委嘱することなどについても検討することとしたい。